

対象

どなたでも
定員 80 名

受講料無料

県大・市大公開講座 2017
1

県立広島大学 × 広島市立大学
連携公開講座

ひろしま学を考える

全4回

7/5

宮島参詣：
近世・近代を中心に

県立広島大学 助教
大知 徳子

7/12

庶民食の深層

—食文化としての
お好み焼を考える—

広島市立大学 特任教授
國本 善平

7/19

外国人が見た
明治・大正時代の宮島

県立広島大学 教授
天野 みゆき

7/26

「光の肖像」展とは何か

広島市立大学 教授
大矢 英雄

平成 25・26・27・28 年度に引き続き「ひろしま学を考える」を開催します。

5 年目を迎えた今回の「ひろしま学」が対象とするのは、近世から現代までの広島観光、文化、芸術です。

二つの大学の 4 人の講師が「もの」や「資料」あるいは「作品」を手がかりとして、それぞれの視点で「ひろしま」を解きあかします。

「ひろしま」のことを、もっとよく知りたいとお考えの皆さんのご参加をお待ちしています。

7月5日－7月26日 毎週 水曜日 18:30-20:00
会場 サテライトキャンパスひろしま

申込方法

往復はがきで、

往信面の裏

- ①郵便番号、②住所、
③名前（ふりがな）、④電話番号

返信面の表

受講者の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇様」）を記入の上、平成29年6月20日（火）（消印有効）までに
県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係宛に申し込んでください。

* 申込多数の場合は抽選とし、受講の可否は申込締切日以降に返信はがきで通知します。

申込・問合せ先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1番71号 県立広島大学地域連携センター「ひろしま学講座」係
TEL : 082-251-9534



平成29年6月1日から、はがき料金が変わります。

5月に送られる場合でも、返信はがきは62円になるよう、
10円分の切手をお貼りください。

ひろしま学を考える

講座の内容

7/5

第1回

宮島参詣：近世・近代を中心に

県立広島大学 助教 大知 徳子

宮島を描いた絵図や写真、旅人たちの日記や紀行文をもちいて、近世・近代における広島・宮島の魅力を探ります。

7/12

第2回

庶民食の深層 -食文化としてのお好み焼を考える-

広島市立大学 特任教授 國本 善平

庶民的な食べ物として愛されるお好み焼は、広島でどのようにして成立したのでしょうか。その経緯をたどるとともに、「お好み焼とは何か」をテーマに、被爆との関わりや調理法、海外の状況など、さまざまな視点から少しでも深く考察してみたいと思います。

7/19

第3回

外国人が見た明治・大正時代の宮島

県立広島大学 教授 天野 みゆき

西洋の人々は宮島を訪れて何を感じ、考えたのでしょうか。皇太子、ジャーナリスト、写真家たちの旅行記を通して見えてくるものについて考えてみたいと思います。フランスの画家、マテュラン・メウについてもご紹介します。

7/26

第4回

「光の肖像」展とは何か

広島市立大学 教授 大矢 英雄

広島市立大学芸術学部油絵専攻が2004年から取り組んできた広島被爆者の肖像画を描く「光の肖像」展のこれまでの内容を解説するとともに、芸術としての絵画の価値についてお話しします。

サテライトキャンパスひろしま

広島県民文化センター 5・6階

〒730-0051

広島市中区大手町1丁目5-3

TEL : 082-258-3131

FAX : 082-258-3010

